

2026

6/20 [土]

8/23 [日]

June 20 - August 23, 2026

名作展

# 彩る、 生きものたち。

A World Colored by Animals

The Observation and Imagination

of Kawabata Ryushi

川端龍子の観察と想像

■開館時間 9:00 ~ 16:30 (入館は16:00まで)

■休館 毎週月曜日 (7月20日は開館し、21日(火)に休館します。)

■入館料 一般200円、中学生以下100円

※65歳以上(要証明)、未就学児及び障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料

## Ryushi Memorial Museum

Kawabata Ryushi (1885-1966) is considered one of the great masters of modern Japanese-style painting. The Ryushi Memorial Museum was planned and designed by Ryushi himself and has a collection of more than 140 of his diverse works.

## 大田区立龍子記念館

〒143-0024 東京都大田区中央4-2-1

ハローダイヤル 050-5541-8600



本展は、生きものをテーマに、日本画家・川端龍子(1885-1966)の作品を紹介し、龍子は1920(大正9)年から、現在の龍子記念館の向かいに位置する龍子公園の敷地に、1966年に亡くなるまで暮らし、そこを最終の棲家としました。龍子の暮らしには、様々な生きものたちがいました。《立秋》(1932年)は、庭の飼犬を描いた一作で、飼犬の視線は主人である龍子を見ていると想像でき、愛犬との親しみに満ちた日常が表れています。《百墓図》(1963年)では、龍子公園内の「爆弾散華の池」周辺に生息する蛙を題材とし、画面には複数の蛙が、正面や側面、あるいは仰向けなど、さまざまな角度から捉えられています。

龍子は身近な生きものを描写した一方で、想像の世界や自然界の諸現象をも生きもので表現しました。《夢》(1951年)は、中尊寺金色堂のミイラが調査されたことを受け、棺を開けた途端、蛾の群れが飛び舞うという幻想的な光景として描き出しました。自然現象を描いた作例には、《渦潮》(1956年)や《御来迎》(1957年)があります。前者は、鳴門の渦潮を架空の生きものである龍の姿を借りて表現し、後者は、富士登山での流動する雲海を白馬が駆ける様子として表現しました。

その他、《百子図》(1949年)や「河童シリーズ」など、龍子が描いた「かわいい、おもしろい」生きものたちも展示します。本展を通して、多様な生きものたちが彩る龍子の世界をお楽しみください。



(左上) 川端龍子《立秋》1932年  
大田区立龍子記念館蔵  
Kawabata Ryushi, *Autumn Begins*, 1932

(右上) 川端龍子《百墓図》1963年  
大田区立龍子記念館蔵  
Kawabata Ryushi, *Hundred Toads*, 1963



川端龍子《百子図》1949年  
大田区立龍子記念館蔵  
Kawabata Ryushi  
*Children Playing with an Elephant*, 1949



川端龍子《夢》1951年  
大田区立龍子記念館蔵  
Kawabata Ryushi  
*Dream*, 1951



川端龍子《渦潮》1956年、大田区立龍子記念館蔵  
Kawabata Ryushi, *Whirlpools*, 1956

### 龍子公園のご案内

隣接する龍子公園では、国の登録有形文化財である龍子設計の旧宅と画室を開館日に解説とともにご覧いただけます。



#### ご案内時刻 (1日3回)

10:00、11:00、14:00 に開門します (30分程度)

画室

**Ryushi Garden Guided Tour 10:00, 11:00, 14:00 ~**

### 関連イベント

#### ■ギャラリートーク

開催日：6月28日(日)、7月26日(日)、8月23日(日)  
各日 13:00 から (40分程度)

#### ■対話型鑑賞プログラム「おしゃべり鑑賞会」

開催日：6月29日(月)、7月27日(月)、8月24日(月)  
各日 14:00 ~ 15:00 会場：展示室内

協力：地域コミュニティをはぐくむ アート・コミュニケーターの会  
※要電話予約 (03-3772-0680)、定員に達し次第締切

#### ■夏休み子ども向けプログラム

##### 「観て、描いて、再発見 親子で龍子を味わおう！」

日時：8月2日(日) 午前(10:00~12:15)・午後(14:00~16:15)

定員：各回12名(申込みが定員を超えた場合は抽選)

講師：小林大悟(美術作家)

参加費：無料 会場：龍子記念館及び大田文化の森

締切：7月22日(水) 必着



※詳細は、当館HPから

#### ■地域連携企画「夏の夜のミュージアム・ジャズライブ」

日時：8月8日(土) 18:30 ~ 19:30

定員：50名(申込みが定員を超えた場合は抽選)

出演：ジャムシッド・ムラディ ほか

(企画・ギャラリー南製作所)

会場：龍子記念館 展示室

締切：7月24日(金) 必着



※詳細は、当館HPから

### 当館へのアクセス



● JR 京浜東北線 大森駅西口から東急バス4番

「荏原町駅入口」行乗車「白田坂下」下車、徒歩2分

● 都営地下鉄浅草線 西馬込駅南口から

馬込桜並木通り(桜のプロムナード)に沿って徒歩15分

#### Access

#### Ryushi Memorial Museum

4-2-1 Chuo, Ota-ku, Tokyo 143-0024  
TEL:050-5541-8600

・From JR Keihin-Tohoku Line Omori Sta. West Exit, take Tokyu Bus No.4 towards Ebaramachi Sta. Entrance, get off at Usuda-Sakashita bus stop and walk 2min.  
・15-min. walk from Toei Asakusa Line Nishi-Magome Sta. South Exit

#### Information

Opening Hours 9:00-16:30 (entrance closes at 16:00)

Admission Adults: 200yen, Minors: 100yen  
Children under 6 and seniors over 65 are free

Closing Days Mondays (When a national holiday falls on a Monday, the Museum will be open and close on the following day)

## 大田区立龍子記念館

〒143-0024 東京都大田区中央 4-2-1

ハローダイヤル：050-5541-8600

記念館直通：03-3772-0680

https://www.ota-bunka.or.jp/facilities/ryushi/



えがく かなでる ひびく

公益財団法人 大田区文化振興協会